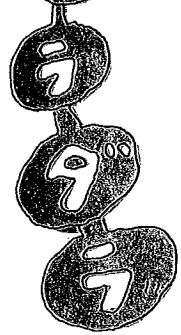


# 冗

おん ジョウ

4画  
一 冫 冫 冗

なりたち 旧字体は冗。人の形をかたどったル(ひとあし)と、ハ(うかんむり)との会意字。する仕事がなく、人が家に「閑居する(暇で居る)」さまを表した字。「暇」なこと。「無駄に居る」こと。



いみとじゆくこ  
▼むだ。不必要。  
冗員：余計な人員。「刺員」とも書く。  
冗費：無駄な費用。無駄遣い。  
冗談：ふざけて言う話。また、ふざけてする事。いたずら。

▼くだくだしい。だかららしいていること。  
冗長：つまらないことが長々と続くこと。用例冗長なおしゃべり。反簡潔  
冗漫：まどまりなく、だらだらとした様子。

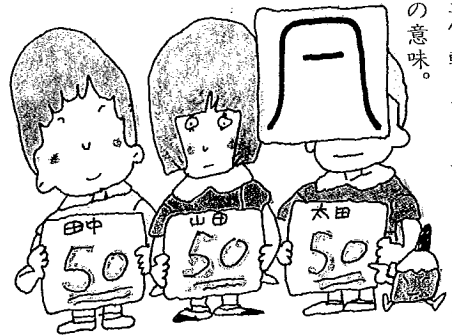
▼暇。  
冗官：職務のない暇な官位。

# 凡

ボン・ハン

3画  
一 几 凡

なりたち 物を大まかに取り囲む形の字で、「大まか」の意味を表した指事字。「大まか」なこと。「大よそ」のこと。「概要」。転じて、「並・ありきたり」の意味。



いみとじゆくこ

▼およそ。概要。  
▼おしなべて。すべて。  
凡例：本の最初に、その読み方や使い方を簡潔書きで書いたもの。  
凡百：もろもろ。あらゆる。多くの。用例凡百の例が一致して示す事実。

▼並。ありきたり。  
凡人：並の人。普通の人。  
凡才：並の才能の人。  
凡夫：①並の男。②仏の道を悟らない、迷いに満ちた人間。  
凡庸：ごく人並みで面白味がないこと。

平凡：特にすぐれた所や変わった所がなく、ごく普通な様子。  
非凡：平凡でないこと。人並み外れてすぐれた様子。  
凡作：凡作。凡打。凡退

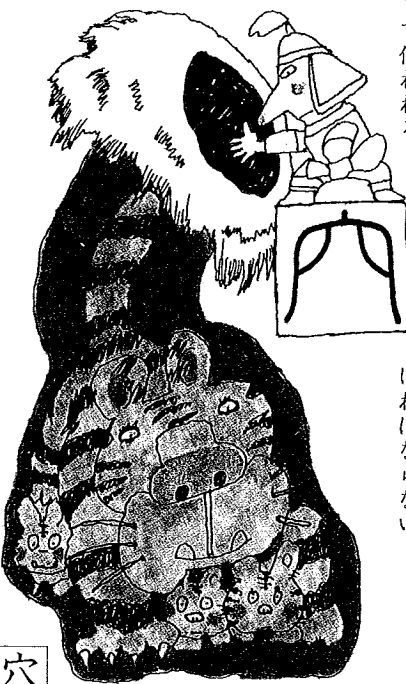
▼よみかた 凡作・凡打・凡退

# 穴

おん ケツ あな

6画  
一 宀 宀 宀 穴

なりたち 穴蔵の形をかたどった象形字。「穴蔵」を表したものが、今は広く単なる「あな」の意味に用いる。また、穴(あなかんむり)として「窓・空・究・突」などの部首として使われる。



いみとじゆくこ

▼穴。  
洞穴：中がからになった横穴。  
墓穴：死者を葬る穴。用例自ら墓穴を掘る。(自分自身の行動が元で破滅する意味。)

穴居：洞穴や地面に掘った穴に住むこと。原始時代の居住形態。例穴居生活  
よみかた 穴埋め・穴蔵・穴場・大穴・落とし穴

さんこう 虎穴(正)に入らずんば虎兇(正)を得ず。成功するためには、危険をおかさなければならぬ。

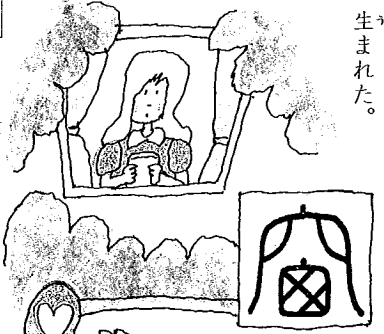
# 窓

# 窓

ソウ マド

6画  
一 宀 宀 宀 窓

なりたち 正字は窗。窗の本字で、窓の形をかたどった窓(窓と、穴との会意形声字。「まど」を表した字。總(総の旧字)の息と穴との形声字「窓」が俗字として使われ、今の字体が生まれた。



いみとじゆくこ

▼窓。  
窓前：窓の前。用例窓前の木。  
車窓：列車や車の窓。  
▼窓のある部屋。勉強する場所。

学窓：学校。  
同窓：学校が同じであること。例同窓生

よみかた 窓外・窓掛け・窓口・出窓・天窗・丸窓

